



学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校
令和 8 年 10 月 2 日 (金)
第 4 号
〒089-0615 中川郡幕別町南町 81 番地 1
電話 0 1 5 5 - 5 5 - 2 1 2 1
FAX 0 1 5 5 - 5 5 - 2 1 2 2

経験を成果に変えて、次なるステップへ

教頭 原 田 誠 治

空の色や風の音に、季節の移ろいを感じる頃となりました。保護者の皆様におかれましては、実りの秋を迎える準備を進めていらっしゃるものと存じます。日頃より本校の教育活動に温かい御理解協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また、生徒たちの体調管理にも細やかなお心配りをいただいておりますこと、重ねて感謝申し上げます。

分校では、9 月に 1・2 年生が「現場実習」、3 年生が「前提実習」に取り組んでいます。実習に先立ち、決意発表会を行いました。

この発表会は、3 年生にとって単なる行事ではありません。「前提実習」は、多くの生徒にとって、卒業後の雇用や福祉サービスの利用につながるかどうかを見極める、極めて重要な実習です。その大きな節目を前に、自らの進路に対する意欲を高め、実習の目的や目標を自分の言葉で発表することで、実習に向けた決意をより確かなものにする大切な場となっています。

特筆すべきは、この会の進行を 3 年生自らが務めることです。自律的な態度は、司会進行や会場設営といった役割を担う姿にも表れています。

最高学年として堂々と目標を語る姿は、参観する 1・2 年生にとって、自分たちの将来を見通すための、これ以上ない「道標（ロールモデル）」となることでしょう。先輩たちの凛とした姿を見て、下級生たちが「今取り組んでいる実習が、いつか自分たちが経験する『前提実習』へとつながっているのだ」と自覚する。その学びの連続性こそが、学校全体の意欲を高める力になると確信しております。

分校では 1 年生から 3 年生まで発達段階に合わせた実習目標を定めています。それぞれの学年が、社会人として歩んでいくための大切なステップを一步ずつ踏み出しています。

実習は「評価」を受けて終わりではありません。3 年生の目標には「自己の適性と課題を自覚し、卒業までの学校生活に役立てる」とあるように、実習を通して得た気づきや学びを、残り少ない学校生活の「指針」として生かしていくことこそが、教育としての大切な目的です。これらの目標は、学校と家庭が連携して生徒を支えることで、より確かな成長へとつながっていくものと考えております。

最後になりますが、保護者等の皆様には実習期間中の健康管理やお弁当の準備、公共交通機関を利用した通勤のサポートに加え、作業服や仕事で必要な道具など、持ち物の用意にも細やかに御配慮いただきました。保護者等の皆様の支えがあったからこそ、生徒たちは安心して実習に取り組み、やり遂げることができました。改めて、心より感謝申し上げます。

実習という大きな山を越え、一回りも二回りもたくましくなった生徒たちの姿を、どうぞ温かく、そして誇らしく迎えてあげてください。

現場 実習

1 学年

2 学年

8月31日（月）～9月11日（金）の2週間、1年生にとって初めての現場実習が行われました。学校とは異なる職場での作業に、初めは不安が大きかったと思います。しかし、一人一人が毎日働き続けることの大切さを感じながら、最後まで真摯な態度で実習に臨むことができました。この2週間で1年生の生徒達は、どんな仕事でも、教わった通り、丁寧に、最後までやりきることを経験できたと思います。この経験から自分が学んだこと、感じたことを大切に、自身の更なる成長に繋げてほしいと思っています。

最後になりましたが、実習にご協力いただいた企業や事業所の皆様、サポートしていただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。

2学年は8月31日から9月11日までの2週間、現場実習を行いました。春の現場実習を通して得た成果や課題を基に、更なるレベルアップを目指して実習に臨みました。

実習中は、1学年で培った力を生かしながら、それぞれの現場のルールに合わせて働き、経験を積んでいきました。通勤で利用する公共交通機関を生徒自身で確認し、卒業後の自立に向けた活動を行いました。実習を重ねるたび、生徒たちは自身の課題と向き合い、たくさんのものを吸収して成長していきます。これまで実習等で得た経験を生かし、3学年の進路選択・決定に向けた努力を続けていきたいと思っています。

最後に、お忙しい中実習にご協力いただいた企業や事業所の皆様、生徒のサポートをしていただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。



3 学年 前提実習

8月31日～10月2日までの5週間で、卒業後の進路を決める前提実習を実施しています。前提実習では、作業学習だけでなく、教科の学習、各種行事、日常生活などこれまでの学校生活の中で培ってきた力や経験を、関わる人や場所が変わっても発揮しなければなりません。

事前学習では、実習先の持ち物や内容の確認に加え、働く上で大切なことを振り返り、「いつでも、どこでも、誰とでも」力を発揮できるよう学習しました。

現在も実習は続いています。慣れない環境に戸惑うこともあるかと思いますが、皆様の応援を背に、自分の将来に向けて、引き続き全力で目の前の課題に取り組んでほしいです。

最後に、お忙しい中実習にご協力いただいた企業や事業所の皆様、生徒のサポートをしていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。